

## セミナー

# 栄養改善と生活向上に資するローカル・ランドスケープ由来の食利用を促進するための科学と伝統知の適用

日時: 2022年12月12日 (月), 14:00 – 16:00 (日本時間)

会場: ハイブリッド開催 ビジョンセンター日比谷+ Webex

世話役: 国際農林水産業研究センター (国際農研)

ローカル・ランドスケープ (水、土、大気、動物、植物など、土地や自然を基盤とする地域生態系の意) 由来の食は、アフリカやアジアのコミュニティにとり重要な栄養源かつ生活の糧を提供しています。本セミナーは、専門家を招き、こうしたローカル・ランドスケープから得られる食を効果的に栄養・生計向上に活用するにあたり、科学や伝統知をいかに適用していくかについて講演いただきます。また、ハイブリッドの形をとることで、国際食料栄養安全保障のプロジェクトに携わる研究者・学生・技術普及専門家・政策担当者に意見交換の場を提供します。

## プログラム



**Dr. Yasuyuki Morimoto, Alliance Bioversity International and CIAT**

Introduction of the seminar



**Dr. Gina Kennedy, IUNS-ICN Task Force Chair, GAIN**

The role of traditional knowledge and food biodiversity to transform modern food systems



**Dr. Patrick Maundu, National Museum of Kenya & Alliance Bioversity International and CIAT**

Traditional food systems, food security in Kenya and the lingering effects of colonial and post-independence extension policies



**Dr. Ken Hoshikawa, JIRCAS – World Vegetable Center**

Development of a breeding technique for traditional vegetable Amaranth that facilitates the nutrition improvement



**Dr. Pepijn Schreinemachers, World Vegetable Center**

Traditional vegetables for healthy diets and income



会場参加・オンライン参加ともに、ホームページから事前にお申し込み

ください(登録無料/申し込み締切: 12月9日 (金) 16:00)。

申込時に会場・オンラインのどちらか選択してください。

※ 会場参加は、40名程度を上限としています。

<https://www.jircas.go.jp/ja/event/2022/e20221212>

お問い合わせ: [koho-jircas@ml.affrc.go.jp](mailto:koho-jircas@ml.affrc.go.jp)